1103 9182

レンジフードファン取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告： 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注意： 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警　告

- **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しないこと**
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。
分解・修理・改造禁止
- **メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること**
漏電した場合、発火したり感電することがあります。
取付注意
- **自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること**
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。
給気注意
- **レンジフードファン本体と排気ダクトは可燃物との間隔を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください**
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署へ確認ください
取付注意

⚠注　意

- **交流100V以外では使用しないこと**
火災・感電の原因となります。
使用禁止
- **運転中はファンの中に指や物を入れないこと**
けがをすることがあります。
接触禁止
- **整流板や部品の取り付けは確実に行うこと**
落下によるけがをする恐れがあります。
取付注意
- **本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと**
落下により、けがをすることがあります。
取付注意
- **配線工事は電機設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行うこと**
誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
取付注意
- **浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと**（浴室用換気扇をお使いください。）
感電および故障の原因になります。
使用禁止

取付前の調査と準備

⚠警　告

- **レンジフードファン本体と排気ダクトは可燃物との間隔を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください**
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署へ確認ください
取付注意

⚠注　意

- **レンジフードファン本体の取り付けは十分強度のある取り付け面または補強桟等に確実に行うこと**
落下によりけがをすることがあります。
壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。
- **レンジフードファン取り付け面の木部に、取り付け用木ねじが確実に届いているかを確認すること**
本体の取り付け用木ねじは、45mmの長さのものが同梱されておりますが壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取り付け用木ねじが確実に本部に届くことを確認してください。

取付注意

1. **取り付け面の強度確認**
……製品を支える強さが必要です。

	重　さ
600幅	16.0kg
750幅	18.0kg
900幅	20.0kg

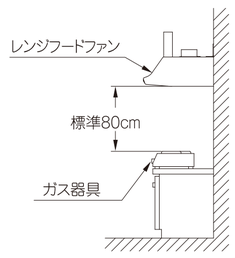
■板張りの場合
- 板厚が20mm以下の場合には壁に補強板を埋め込み補強板にレンジフードファンを取り付けてください。
- 板厚が20mm以上の場合は壁に補強板は必要ありません。

■コンクリート、タイル壁の場合
- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

■土壁の場合
- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

2. **別売部品の準備**
排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

3. **標準取付寸法**
本製品の標準取付寸法は、ガス器具の上面からレンジフードファン本体下面まで80cmです。
※火災予防条例では、グリスフィルターの下端がレンジの真上80cm以上必要となっています。



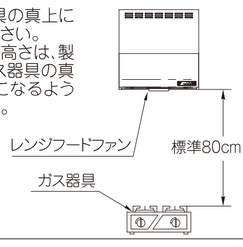
4. **電源コンセント**
レンジフードファンの電源は専用コンセントを設けてください。
（交流・単相100V）

取付上のご注意

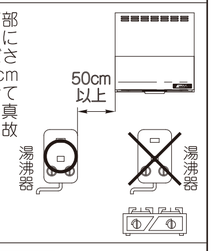
- **下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。**
  - **大工工事（設置のための下地工事等）**
  - **配線工事（コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等）**
  - **管工事（ダクト配管及びレンジフードファンからのダクト接続等）**

  流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。

- ガス器具の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
ガス器具はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- レンジフードファンの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網等）と接触しないように、十分注意して取り付けてください。なお、本体の壁への埋め込みは、絶対にやめてください。
漏電した場合発火することがあります。
- 排気工事をされる場合建築基準法（同施行令）および消防法等の関連法規に従って施工してください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないでください。
火災・故障の原因となります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 電源は専用コンセントを設けてください。
火災・感電の原因となります。
- 製品の取り付けには手袋を着用してください。
薄板の切り口などでけがをするおそれがあります。
- 製品はガス器具の真上に取り付けてください。
なお、製品取付高さは、製品の下端がガス器具の真上80cm以上になるようにしてください。



- レンジフードファン下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。

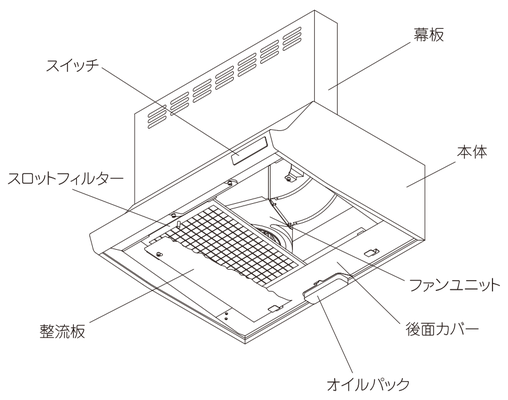


- 建物が密閉されている場合は必ず、約400㎠程度の空気取入口を設けてください。
部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

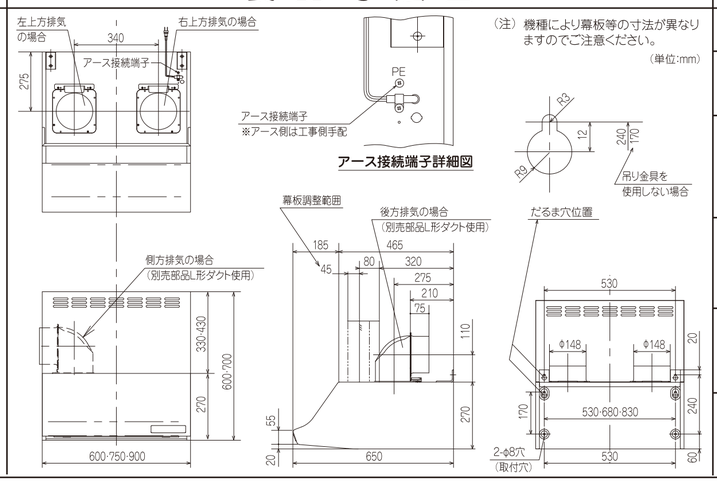
BL部品保険制度について

- 当社の定める施工要領を逸脱しない取付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙が貼り付けされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。
- BL保険制度や保険金の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ（http://www.cbl.or.jp/）をご覧いただくか、一般財団法人ベターリビング 保険・表示課（TEL 03-5211-0559）にお問い合わせ下さい。

各部の名称



製品寸法図



付　属　品

品　名	略　図	用　途
座付ねじ（φ5.1×45）	4本	本体を壁面に固定するのに使用します。
排　気　口	1個	本体と排気ダクトの接続に使用します。逆風防止シャッター付きです。
吊り金具	2個	本体の取り付けに使用します。
ソフトテープ	1本	排気口とダクトの隙間をふさぐのに使用します。
オイルパック	1個	本体の下端部に取り付け油を受けます。

取り付けかた

1. 排気方向の設定

⚠警　告

- **メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること**
漏電した場合、発火したり感電することがあります。
取付注意

⚠注　意

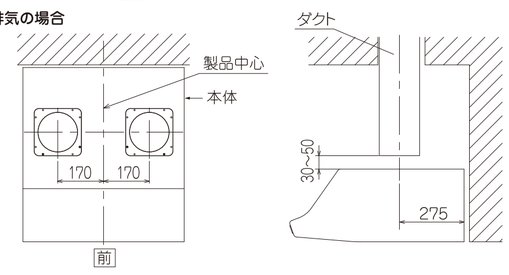
- **浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと**
（浴室用換気扇をお使いください。）
感電および故障の原因になります。
使用禁止

本製品は排気方向によりファンユニットを変更する仕様になっています。
以下の手順を確認の上、作業を行ってください。

（1）製品寸法図を参照し、壁穴を開けてください。

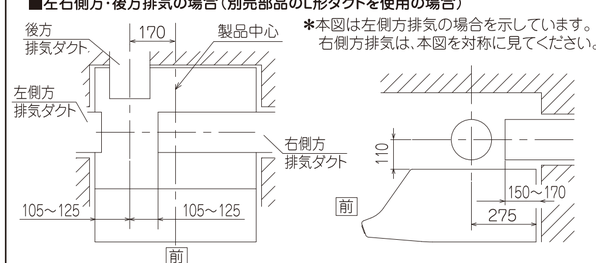
（2）φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを下図のようにレンジフードファンの天面に突き出すようにセットして、周囲を仕上げてください。
（コンクリート、タイル、土壁）

■上方排気の場合



■左右側方・後方排気の場合（別売部品のL形ダクトを使用の場合）

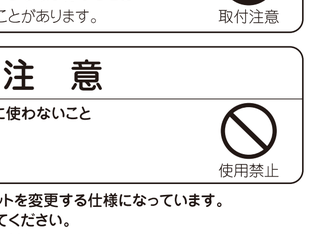
＊本図は左側方排気の場合を示しています。
右側方排気は、本図を対称に見てください。



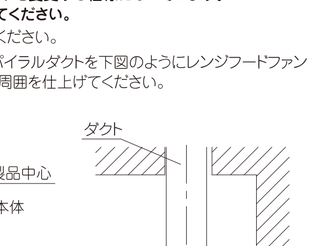
2. 本体の準備

お願い **床に傷を付ける恐れがある場合は、梱包材等を敷いて、その上で作業を行ってください。**

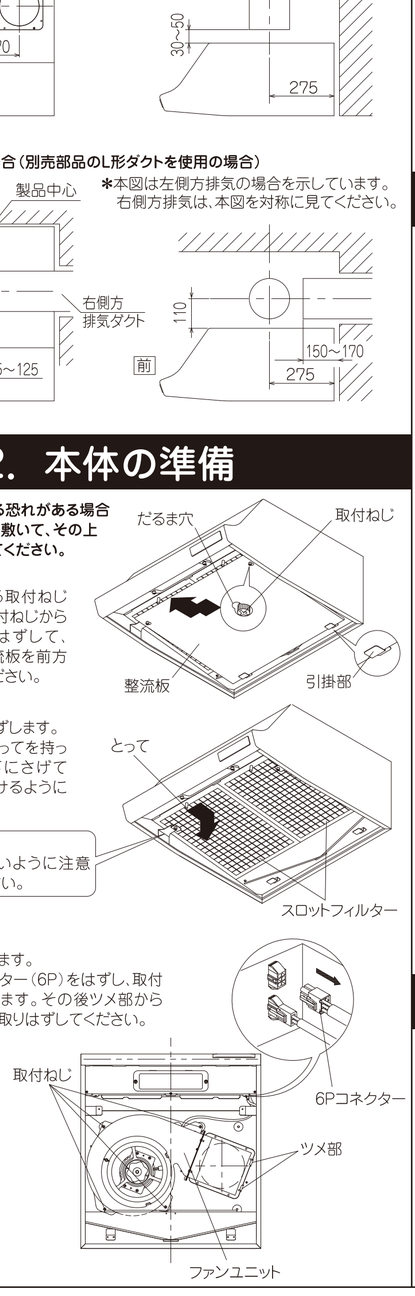
（1）整流板をはずします。
整流板を固定している取付ねじ（2ケ所）をゆるめて取付ねじから整流板のだるま穴をはずして、本体の引掛部から整流板を前方にずらしてはずしてください。



（2）スロットフィルターをはずします。
スロットフィルターのとってを持って、奥に押しながら下にさげてはずし、取付金具をさけるように取り出してください。



（3）ファンユニットをはずします。
ファンユニットのコネクター（6P）をはずし、取付ねじ（4ケ所）をはずします。その後ツメ部からファンユニットを抜いて取りはずしてください。

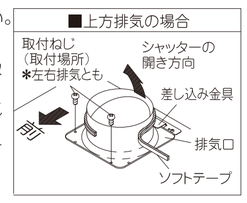


3. 排気用部品の準備

付属品の排気口、ソフトテープを準備してください。

■上方排気の場合

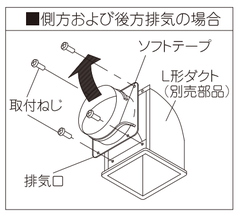
排気口に付属品のソフトテープを貼り直接本体に取り付けます。
排気口は本体上面の差し込み金具に差し込み排気口取付ねじ（2ケ所）で取り付けてください。
（排気口取付ねじはあらかじめ本体の排気口取付部に止めてありますのではずしてご使用ください。）



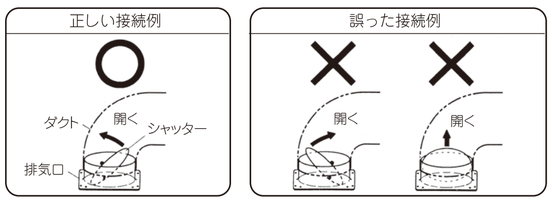
お願い **排気口取付ねじは、取り付かない場所がありますので所定の場所に必ず取り付けてください。**

■側方および後方排気の場合
（別売部品のL形ダクトを使用する場合）

排気口に付属品のソフトテープを貼り別売部品のL形ダクトに取り付けます。
排気口は、L形ダクトに付属の取り付けねじ4本で、L形ダクトに取り付けてください。



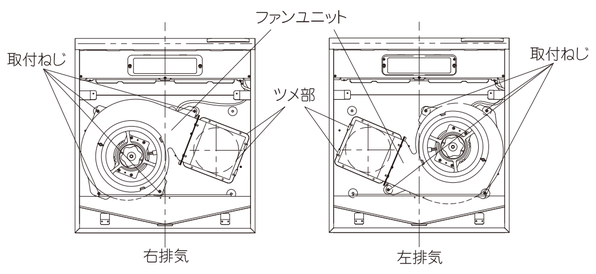
お願い **別売部品のL形ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して側方・後方排気をする場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。下図の「誤った接続例」の場合排気不良や異常音の原因になります。**



（4）排気穴を選択します。
排気方向が、左天井面・右天井面の2方向に排気ができるので、建物の構造に合わせて決めてください。
排気方向が決まりましたら、木ハンマーなどでハーフカットを打ちぬいてください。

お願い **ハーフカットの打ちぬきは、必ずファンユニットを取りはずした後に行ってください。**
打ちぬく際にファンユニットを破損する恐れがあります。

（5）ファンユニットを取り付けます。
ツメ部にファンユニットを差し込み、左上方位置にファンユニットをあわせます。
（3）ではずした取付ねじ（4ケ所）で固定し、ファンユニットのコネクター（6P）を取り付けてください。



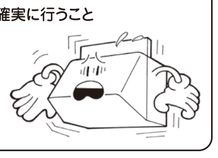
お願い **6Pコネクターは確実に取り付けてください。接触不良を起こしファンが作動しなくなる場合があります。**

（6）付属品一式を取り出します。

4. 本体の取り付け

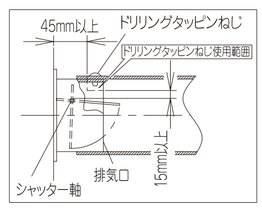
⚠注　意

- **本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと**
落下により、けがをすることがあります。
取付注意



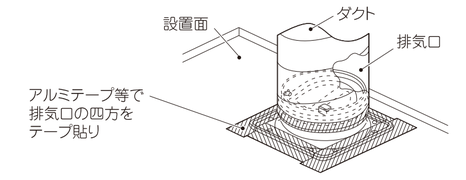
5. ダクトと排気用部品の接続

お願い **ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合はシャッターにねじがあたらないように右図のドリリングタッピンねじ使用範囲内に固定してください。**



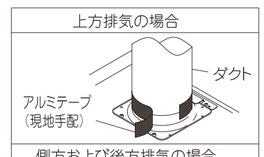
排気口設置面の漏風確認のお願い

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードファンの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面（フード天面等）が変形し、排気漏れが発生してしまう場合があります。
排気漏れ確認の為に、ダクトと接続後は試運転（強運転）を行ってください。漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現地手配）で漏風防止処置を行ってください。



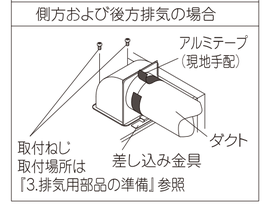
■上方排気の場合

風漏れ防止のテーピング（アルミテープ:現地手配）を行ってください。



■側方および後方排気の場合
（別売部品のL形ダクトを使用する場合）

（1）L形ダクトを本体上面の差し込み金具に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し排気口取付ねじ（2ケ所）で取り付けてください。（排気口取付ねじはあらかじめ本体のL形ダクト取付部に止めてありますのではずして使用ください。）



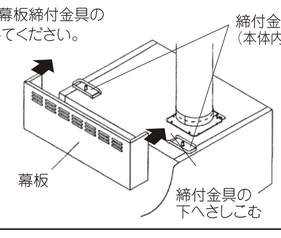
お願い **排気口取付ねじは、取り付かない場所がありますので所定の場所に必ず取り付けてください。（『3.排気用部品の準備』の上方排気の場合参照）**

（2）風漏れ防止のテーピング（アルミテープ:現地手配）を行ってください。

6. 幕板の取り付け

（1）幕板締付金具のねじ（左右各1か所）をゆるめ、幕板を前から差し込んでください。

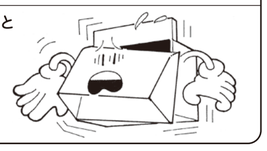
（2）幕板の取付位置を決め、幕板締付金具のねじを締め付けて固定してください。



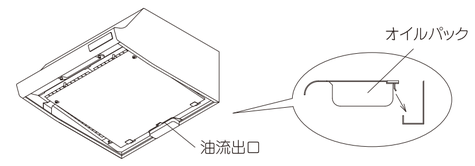
7. 組み立て

⚠注　意

- **整流板や部品の取り付けは確実に行うこと**
落下により、けがをすることがあります。
取付注意



2.**本体の準備**の（6）で取り出したオイルパックを準備してください。
■組み立ては、**2.本体の準備** の項と逆の順序で組み立てを行ってください。
■オイルパックをファンユニットの油流出口の真下にセットしてください。



お願い **コネクターは確実に差し込んでください。運転できない恐れがあります。**

8. 電気配線

⚠警　告

- **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しないこと**
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。
分解・修理・改造禁止

⚠注　意

- **交流100V以外では使用しないこと**
火災・感電の原因となります。
使用禁止
- **配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行うこと**
誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
取付注意
- **アースを確実に取り付けること**
故障や漏電のときに感電することがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください。
アースを取り付ける

■レンジフードファンの電源は、専用コンセントを設けてください。
■電源プラグはコンセントに差し込んでください。
■必ずアース（D種接地工事）をしてください。
アース設置位置は「製品寸法図」を参照してください。
＊アース線は取り付け作業側にて手配してください。

9. 試運転

⚠注　意

- **運転中は危険ですからファンの中に指や物を入れないこと**
けがの恐れがあります。
接触注意

■スイッチを押して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
■運転時、強、中、弱の排気が正しく行われていること。
■異常な騒音、振動がないこと。
■取り付け又は施工上に発生した不具合で、修理を依頼されますと全て有料になりますので十分確認してください。

10. お客様への説明

■取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
■取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

製造元：富士工業株式会社
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号
0120-071-686